

第4回 ボウリング界の未来を考えるシンポジウム

新時代のボウリングを目指して



あらゆるスポーツが、生き残りをかけて時代に合わせた変化を遂げている。
メディア戦略、産業とのコラボ、ルールの改正をもいとわぬ覚悟で、未来を切り開いている。
ボウリングも、若者に受け入れられる新しい形態を目指して、
業界の外側に踏み出す勇気を持つときが来ている。
スポーツルール、メディア、ゴルフ産業のスペシャリストと、ボウリング界の革命児が
「新時代のボウリング像」を浮かび上がらせる。

2016年

9/12(月)

〈開演〉14:30~16:20(開場14:00)

〈会場〉国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3番1号 国際交流棟・レセプションホール

〈入場〉2,000円

【講演テーマ/講師】 順不同・敬称略

◆ 若者をボウリング場で遊ばせる方法

財津 宜史 株式会社 京王興産 笹塚ボウル 専務取締役

◆ ボウリング界活性化のための
スポーツルール論からの「提言」

守能 信次 中京大学 名誉教授

◆ テレビにおけるスポーツ中継番組の
存在価値とボウリングの可能性

武石 英三 株式会社テレビ東京制作 常務取締役

◆ ゴルフ界が辿った無為無策の軌跡と現在の光明

片山 哲郎 株式会社ゴルフ用品界社 代表取締役

【コーディネーター】 来田 享子 中京大学 スポーツ科学部教授/公益財団法人全日本ボウリング協会 評議員

主催：JBC 公益財団法人 全日本ボウリング協会

後援：公益社団法人 日本ボウリング場協会
全国ボウリング公認競技場協議会

お問合せ先：公益財団法人 全日本ボウリング協会事務局
TEL:03-3452-4501 (平日10時~18時)
info@jbc-bowling.or.jp www.jbc-bowling.or.jp



ボウリングは全国的に老若男女に人気がありながら、ボウリング場は減少傾向にあるという、内なる課題。

そして東京オリンピック・パラリンピックの種目採用で感じられた、世界レベルでのボウリング界の改革の必要性和、スポーツとしてのボウリングの立ち位置の問題。

ボウリング界が迎えている、この大きな節目を乗り越える道筋をつけることで、よりよい未来像を描けるものと確信しています。

公益財団法人全日本ボウリング協会 会長 北川 薫

公益財団法人 全日本ボウリング協会 行
FAX03-3452-4504 / info@jbc-bowling.or.jp

第4回ボウリング界の未来を考えるシンポジウム

【参加申込書】

日時：2016年9月12日(月) 14:00開場 14:30開始

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟レセプションホール

貴社 団体名		
御芳名		
ご連絡先 TEL		
通信欄		

【会場ごあんない】

国立オリンピック記念青少年総合センター（国際交流棟レセプションホール）
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL:03-3469-2525
新宿駅より小田急線（各駅停車）にて2駅 参宮橋駅下車 徒歩約7分
京王バス 渋谷駅西口バスターミナル（14番）より 代々木5丁目下車

